

『嫌気性菌培養・同定検査』 専用容器変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、微生物学的検査の嫌気性菌培養・同定検査で使用しております嫌気ポーター(容器番号：⑥⑥)について、容器販売元(テルモ株式会社)より、本容器の販売を中止する旨の連絡がございました。

これにともない、弊社といたしましては、在庫がなくなり次第、同等の性能を有する容器に変更させていただくこととなりましたのでご案内申し上げます。

先生方には、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

2025 年 5 月

【記】

◇対象容器

容器番号	容器名
⑥⑥	嫌気ポーター

変更期日：在庫が無くなり次第順次変更

※ 新容器の使用方法につきましては、裏面をご参照ください。

◇嫌気性菌培養・同定検査専用容器変更内容

変更内容	新	従来
容器番号	66	同左
容器名	シードチューブ	嫌気ポーター
保存方法/有効期限	室温で6ヵ月	冷蔵で2年間
販売元	栄研化学株式会社	テルモ株式会社
容器		

◇新容器の使用方法

[液体検体（穿刺液、消化液等）]	固形検体（膿、糞便、組織片等）
<p>① 穿刺部(ゴムキャップ上の小円)を消毒用アルコール綿等で消毒します</p> <p>② 注射針を穿刺部に垂直に穿刺し、液体検体を注入します。</p> <p>③ 検体は速やかに提出してください。 やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。</p>	<p>① ゴムキャップを消毒用アルコール綿等で消毒します。</p> <p>② ゴムキャップを外し、固形検体を入れます。 検体は寒天の奥まで挿入してください。 ※ 綿棒は長さ7cmまで入ります。 それ以上のものは切断してください。</p> <p>③ ゴムキャップを速やかにしっかり閉めます。</p> <p>④ 検体は速やかに提出してください。 やむを得ず保存する場合は冷所保存してください。</p>
<p>例：ガーゼや滅菌綿棒で拭った検体</p> 	